

ベストマッチ[®] 抑制トマト555

15-5-15-Mg2

初期肥効抑制タイプ

抑制トマトの収穫期間中に必要な追肥分の肥料成分をトマトの生育に合わせて配合しました。元肥に1回施用するだけで、抑制トマトを安定して栽培できる専用肥料です。

N	窒素 (被覆)	3.0 Kg
P	りん酸(被覆)	1.0 Kg
K	加里 (被覆)	3.0 Kg
Mg	苦土 (被覆)	0.4 Kg

(1袋20kgあたり)

特長

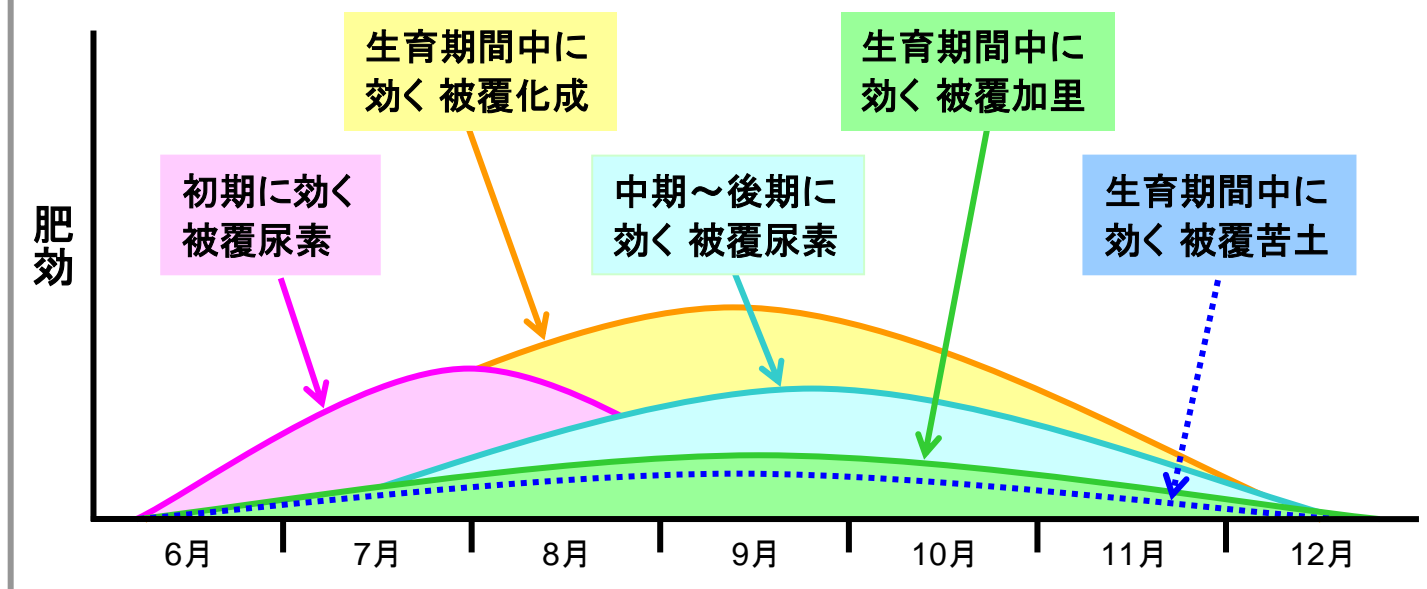
1. 抑制トマト用に設計したオール被覆配合肥料です。

6月頃に定植し、12月頃まで収穫する抑制トマト用に、5種類の被覆肥料を配合しています。窒素だけではなく、りん酸、加里、苦土についても被覆肥料として配合しており、抑制トマトの生育に適するように設計されています。

2. 抑制トマトに好適な肥効が持続します。

抑制トマトは、初期の肥効は抑え目とし、生育期間中は安定した肥効を持続させることがポイントです。抑制トマト555は被覆肥料から窒素、りん酸、加里、苦土がじっくりと溶出し、生育期間中トマトに適した肥効が持続します。生育ムラが少なくなり、安定多収を実現します。

ベストマッチ抑制トマト用555の肥効イメージ(6月初旬施肥の場合)



施用量・施用方法

本肥料には元肥相当の速効性成分は含まれていません。施用量は追肥相当分であり、品種・土壌・地力により異なりますが、標準的な施用量は 160～200kg/10a(窒素で24～30Kg)です。堆肥・石灰資材などの土壌改良材を通常どおり施用した後、有機化成肥料など元肥と同時に全量混層施用ください。